

伯耆大山と蒜山 ～～ありがとう go to～～

山行日 2020年11月17日～19日

参加者 L/和田 E、SL/鈴木 H、吉田、山田 M、松藤 (記)

行程 17日 羽田 7:15=出雲空港 8:40=上蒜山登山口 11:40-槍ヶ峯 13:15-上蒜山頂上 13:50-ピストン-上蒜山登山口 15:30=皆生グランドホテル天水 17:30

18日 南光河原駐車場 6:35-夏山登山口 6:50-6合目避難小屋 8:45-石室 10:05-弥山頂上 10:15-行者登山道分岐 12:15-元谷 13:00-大山寺 13:50-駐車場 14:20

19日 足立美術館、出雲大社観光=出雲空港 19:30=羽田 20:50



いよいよ待ちに待った山陰遠征登山です。初日は観光の予定でしたが、3日目よりも天候が良い初日に上蒜山に登ろうと羽田空港で変更を決めて、大慌てで下着からなにかに着替えました。出雲空港からレンタカーで出発して、途中道の駅で昼食を買い蒜山高原に向かいました。登山口は牧草地を通り過ぎた先にあり栗色のジャージー牛がモ～と見送ってくれました。

晩秋だというのにけっこうな夏日で、正午近くにスタートした時からもう大量の汗が… たまに吹く風が気持ちよく落ち葉のクッションを踏みしめてテンポよく歩きました。上蒜山山頂は展望がなく、少し下った槍ヶ峯からは中蒜山とその向こうの下蒜山がきれいに見えました。蒜山三山を全部歩けたらいいなあなんて思ってたなら、我が松戸山の会の事務局長が10月に縦走してました、すごい！



下山後は高原センターでお買い物。だって私たちには goto のクーポンがたくさんあるんですもの♪ まずは駆けつけ1杯濃厚な牛乳をゴクっとしてから、ベーコン・ウインナー・乳製品を買い込みました。それでもまだ残るクーポン、もう before goto には戻れないかも～

2日目はメインイベント伯耆大山に登ります。崩落がすすむ大山、その危機は山頂碑のすぐ後ろまで迫ってきておりやっと移設工事と避難小屋建設が終わったばかりでした。引き続き頂上を保護する取り組みの「一木一石運動」に賛同して、駐車場で石をひとつポケットに忍ばせてスタート！ この日も強い日差しで、因幡の白兎、もとい黒兎になりそうです。夏山登山道はほとんどが階段で最後だけちょい木道です。こんな階段だらけなのは初めてで遅れをとらないように列の前をいく和田軍曹についていきました。そろそろ休憩かなという頃合いで、鬼軍曹は“水だけ、休憩5分！”と怖い声を出すので松藤2等兵はびくっとしますが、上等兵たちは、やだーとかもっと休もうよーとか じつに自由に反抗します。おかげで日本海の景色も堪能できたしバテることなく楽しく山頂まで登れました。山頂は国の特別天然記念物に指定されているキャラボクの群落で、青い空に緑が映えて爽やかでした。



下山は六合目避難小屋すぎから行者登山道にすすみ、元谷からの北壁の神々しい眺望のため息が出ました。大山寺で参拝してから車で鍵掛峠に移動して今度は南壁を眺め、あらためてその美しさに圧倒されました。

最終日は足立美術館と旧暦神在月の出雲大社を観光しました。安全に登山を続けられますよう全国の神々に祈願したので間違いないでしょう。そして島根と鳥取の位置を間違えることももうないでしょう。三日間を通してお天気に恵まれ最高の登山ができました。眠りにつく間際までゲラゲラ笑ったことはいまだに思い出し笑いしますし、体のケアなど大事なことも教えていただきました。和田さんありがとうございました。鬼軍曹なんてウソです、ごめんなさい。みなさまお世話になりありがとうございました。